

静岡県漁業協同組合連合会  
1092 静岡市追手町 9-18  
16.5.14 054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

## 1. 平成16年度第1回理事会開催 平成15年度決算・16年度計画等を承認

本会では、去る4月27日平成16年度第1回理事会を開催し、平成15年度事業報告、決算処理及び平成16年度事業計画案等について審議を行い、いずれの議案も承認を得ました。

平成15年度の事業概要は、漁業・JFグループを取りまく環境が極めて厳しい中での事業展開となりましたが、各事業ともに当初設定した重点推進事項を中心に取り組んだ結果、経済事業では総取扱高、経常利益ともに計画・前年を上回る成績を上げることができ、また指導・温水利用事業でも計画通りの成果を得ることができました。

部門別に見ますと、指導事業では漁政対策として密漁防止体制の整備と防止啓発活動、資源管理、担い手の育成、WTO対策、キンメダイの水銀問題に係る風評被害防止対策等の漁業振興策を講じたほか、広報活動、「海の子フェスタ2003」を開催し、また、組合指導・漁協合併推進では、経営不振漁協に対する経営再建指導、役職員を対象とした各種教育研修、相良地区を重点とした漁協合併推進、監査事業を実施しました。その他漁協青壮年・女性部活動の助長を通じた育成指導に努めました。

一方、経済事業については、重点推進事項として会員に対する石油類の系統全利用体制の確立、継続供給に向けた新資材類の開発推進、地場産鮮魚介類の取扱い体制の構築に取り組み、特に年度途中より新規事業として浜名湖産アサリを主体とする二枚貝集出荷事業に着手し、またインターネットを活用した本県特産品の通信販売事業も立ち上げました。この結果、経済事業の総取扱高は7,339百万円(計画比103%、前年比103%、以下同じ)、事業総利益541百万円(104%、103%)の成績で、人員抑制による事業管理費の節減効果もあり経常利益は58百万円(141%、171%)の好結果となり、剰余金処分案では1%配当を予定することとなりました。

また、温水利用委託事業については、マダイ・ヒラメ等の各種種苗を生産し、必要な放流用に提供したほか、建設中の新施設は今秋完成を目処に工事が順調に進められていることが報告されました。

次に、平成16年度事業計画では引き続き厳しい事業環境が予測される中、重点事業である指導事業では、漁協の経営と組織の再編に向けた抜本的対策の確立を最優先課題に、水産資源の維持・回復計画の実践、食の安全性への対応、密漁防止対策、WTOやFTA対策等の指導を積極的に推進し、また経済事業では石油購買を柱に、資材類、地場産鮮魚介類や加工製品・食品等の取扱いを積極的に推進することとし、事業総取扱高は71億円を見込んでいます。

その他当日は、通常総会の招集と付議事項、総会や任期満了に伴う役員選挙関連日程等についても報告し承認を得ました。

## 2. 記録的なブリの豊漁で賑わう

伊豆東岸の大型定置による今年のブリの水揚げが、ここ10年以上1万尾にも達しない状

況が続いていましたが、今年は4月末までに2万尾を上回り昭和57年以降で最も多い水揚げとなりました。今年は2月16日に東伊豆の北川で約9,200尾(78ト)、4月1日に熱海市の伊豆山で約2,300尾(17ト)などの水揚げを記録し、4月末までの北川、伊豆山、川奈など大型定置網8ヵ所の合計で25,388尾が水揚げされました。

伊東市漁港に水揚げされたブリは、関東、関西、日本海方面などへ出荷されたほか、地元ホテル、旅館などへ卸されました。ブリは平均8~9kgが中心で、キロ当たり600~700円で取引されました。また、大型連休前後は潮流などの影響により例年並みの漁獲量で、平均6~7kgの小型サイズ(ワラサ)が中心でキロ当たり400~500円で推移しています。

県水産試験場伊豆分場によると、水揚げされたブリの状況から、2000年級群と呼ばれる2000年生まれの4歳魚が中心と見られ、同年級群は近年では非常に有力なものとして知られていました。このため、当時は前年の上半期に三歳魚として水揚げされるのではと期待されていたとしています。

## 3. あまぎの森づくり県民大作戦へ参加

伊豆市湯ヶ島のあまぎの森で去る4月29日(みどりの日)に、県主催による植樹イベント「あまぎの森づくり県民大作戦」へ一般市民とともに漁業関係者が参加し植樹活動を展開しました。はじめに主催者を代表して石川知事より挨拶が述べられ、引き続き大城伊豆市長より挨拶があって開会式が執り行われました。

この後、参加者約300人は2班に別れてマメザクラ、アセビなどの広葉樹約3,000本の苗木を植樹しました。漁業関係では約30名が参加し、伊東市漁協よりツイの木による粗朶魚礁やパネルの展示を行ったほか、土肥町漁協、戸田漁協の参加がありました。また、内水面関係の狩野川漁協、大井川非出資漁協も参加しました。

## 4. 諸会議・日程 (5月18日(火)~5月31日(月))

- 既報分省略 -

- 5月18日(火) 県JF共済推進本部 = 沼津地区推進協議会 (内浦漁協)
- 5月19日(水) 県漁業共済組合 = 監事会 (共済組合事務所)
- 5月20日(木) 県沿岸漁業振興協会 = 通常総会 (ブケ東海)  
" 県漁港協会 = 通常総会 ( " )  
" 県漁業信用基金協会 = 監事会 (県水産会館)
- 5月21日(金) 県漁業信用基金協会 = 理事会・審査委員会 (県水産会館)  
" 県JF共済推進本部 = 榛原地区推進協議会 (坂井平田漁協)
- 5月24日(月) 県漁業振興基金 = 理事会 (クーポール会館)  
" 県遊漁船業協会 = 通常総会 (県水産会館)  
" 県おさかな普及協議会 = 通常総会 ( " )  
" 海の子フェスタ実行委員会・幹事会 ( " )
- 5月25日(火) 共水連県事務所 = 通常総会 ( " )
- 5月26日(水) 県信漁連 = 理事会 ( " )
- 5月27日(木) 県漁船保険組合 = 理事会 ( " )  
" 県漁業共済組合 = 理事会 ( " )  
" JF静岡女性連 = 通常総会 ( " )